



新年の決意

2016年



戦争への道は許さない

服部 久子

昨年は、池田町議会選挙がありましたが無投票当選になり、また議員をさせていただくことになりました。今年もよろしくお願い申し上げます。

今年は、夏に参議院選挙があり、国の針路を左右する、もっと言えば私たち一人一人の人生をも左右する選挙になります。

昨年成立した「安保法制（戦争法）」が3月に施行されますと、中東の紛争にアメリカから出動要請があれば自衛隊は出る可能性があります。

私は、子供の頃どうして殺し合う戦争を国民は選ぶのか疑問でした。母親にどうして戦争になったか聞いたことがあります。母は、いつの間にか戦争していたと答えました。ここ数年ではつきり解ってきました。権力は、初めから戦争をすると言わない。平和のため、国民の命と財産を守るためと言う。そのために、教育基本法を変え、国民保護法や秘密保護法

を定め、着々と周りを固めてきました。

その上憲法に戒厳令と同じ緊急事態条項を入れようとしています。このままいけば戦争は遠い過去のものではなく、目の前の現実のものになるうとしています。

また、安倍首相は、消費税増税やTPP、原発再稼働など私たちの思いと反対の政策を進めています。夏の選挙では「安保法（戦争法）」反対の統一候補を立て、今の政治を改められるよう頑張ってください。どうか熱いご支援をよろしくお願い申し上げます。

今こそ、頑張りどき

薄井 孝彦

安倍首相は今年7月の参議院選挙では憲法改正を国民に問い、改憲発議に必要な2/3以上の議席をとると言っています。

更に、憲法に「緊急事態条項（自然災害や有事の際、内閣が法律と同じ効力を持つ政令を出せる）」を入れる考えです。この条項が入れば、国民に政令服従義務

が課せられ、国民の権利は制限され、独裁政治になってしまいます。なんとしても阻止しなければなりません。

参議院選挙は日本の針路を決める重要な選挙となりました。今こそ、頑張り時です。皆さんとともに力を尽くして頑張ります。

議員生活も2期目に入りました。昨年の町議会議員選挙で掲げた4つの課題実現に向け更に頑張ります。

①国の福祉削減政策から「福祉と暮らし」を最優先で守り、住みやすく・安全な町に。

②地域資源を活かした農林業・産業を興し、自然生態系豊かな町

に。

③町民と行政が力を合わせたより良い町づくりを。

④町民の皆さんの声をよく聴き、政策提言する議会に。

また、国は町に町施設（学校、保育園、道路、橋など）の長期的なあり方（更新・統廃合・長寿命化）や管理計画を定める「公共施設等総合管理計画」の策定を27年度・30年度で求めています。

28年度から町民参加の検討委員会を立ち上げての検討が始まることになっています。安易な統廃合にならないよう求めていきたいと思っています。

揺るがぬ決意で頑張ります



2016年参議院
比例代表予定候補
たけだ良介さん

昨年3月に参院選比例候補として発表されてから10カ月、躍進を目指して活動してきました。

子どもたちは日々大きくなります。「うちの子も、一人の青年も

戦場に送らない」、揺るがぬ決意で頑張ります。

年末、宜野湾市長選の応援で沖縄に行きました。「安倍政権を倒さなければ、本当に基地は止められない」が沖縄の声——安倍政権打倒が最大の沖縄への連帯でもあります。

参院選公示まで、約半年。毎月、毎週、毎日の活動で、国会へ駆け上がる決意です。

「野党は共闘」の声

参議院選挙で統一候補の擁立を！

「憲法違反」との国民的な反対の声と行動を押し切つて、安保関連法（戦争法）が、国会内の多数の横暴により強行成立させられました。

しかしこの戦争法を廃止させるための取り組みが、全国で展開されています。その一つが2000万署名であり、池田でも「町民の

会」を中心に2000筆を

目標（現在すでに半数以上を集約）で活動しています。具体的に戦争法を廃止させるためには、国会内の力関係を変えなければなりません。とりわけ全国32の一人区で、反自・公の野党候補を勝利させることが決定的に重要です。

長野県区は定数削減により一人区になりました。そこで統一候補の擁立を目指す市民団体「2016信州市民の会」（無言館館主窪島誠一郎氏、映画コラムニスト合本こずえ氏、八十二銀行元頭取茅野実氏、信大特任教授又坂常人氏、ちひろ美術館顧問松本猛氏、善光寺白蓮坊住職麻績敏隆氏など）が設立されました。さらに県内で活動する幅広い民主団体が結集し「信州市民連合」が発足、世話

読者のひろば

皆さまからの投稿をお待ちしています。

聞いて！聞いて！

「戦争法じゃねえ？！」

2000万署名を取組む中で「安全保障関連法は戦争法じゃあねえ、戦争させねえため」という人がいたが本当にそうだろうか。

これまで中東に軍を送ったことがない日本は、憲法9条の国として焦土となった国を世界の経済大国にさせたと中東では尊敬を集めていた。しかし今一部の過激派組織とはいえ憎しみの対象になった。戦争法に向かう日本のありようがテロを招きこんだのではないか。

70年間私たち自身が直接関わる戦争を知らずに暮らしてきたが、戦争法の実施で間違いなく自衛隊員が戦死し、相手一見も知らぬ土地で敵味方の区別など付かない、ISの戦闘員とは限らない・南スウダンなら少年兵、シリアなら民間人を殺すことになる」と自衛隊経験者が言う。これは「戦争」ではないのだろうか。

豊町 曾根原 鈴美

映画「杉原千畝」を観て

映画「杉原千畝」を観ました。

以前岐阜県八百津町の記念館を見学したことがあったので、分かっていたつもりでしたが、日本政府に逆らいユダヤ難民を救うため、6千通のビザを発給した勇氣に改めて感動しました。

今、中東やアフリカからの難民が難しい問題となっていますが、杉原千畝さんの人道的精神が、日本を含め世界中で生かされないものかと思いました。

uさん



「杉原千畝 スギハラチウネ」
製作委員会ホームページより

渋谷駅前を野党共闘を求めている
シールズらが埋め尽くす 昨年11月